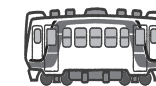




梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



木のぬくもりで表現

第14回久慈地方木工工作コンクール 10月9日



木製の賞状を掲げる高張さん(左)と下川さん(右)

アンバーホールで第14回久慈地方木工工作コンクールの表彰式が行われました。最優秀作品の久慈市長賞を高張さんと下川悠空さんが受賞。高張さんは「草を表現するところが難しかったです。賞をもらえるとわなかったの、とても驚いています」と笑顔で語りました。

ゆっくり死と生をおもう

社会福祉法人琥珀会と岩手県立大学の連携事業 8月20日～9月24日



振り返り学習を行う参加者

琥珀会と県立大学が、誰にでも訪れる「死」と「生」について考えるブルーカフェを計4回開催。地域の人や久慈東高校の生徒を交え、模擬葬儀やグループワークなどを実施しました。参加者の萩生田ミチさんは「死について気張らず考えることができました」と述べました。

入館者40万人達成

情報交流センター YOMUNOSU 40万人達成 10月20日



40万人達成のボードを掲げる関係者ら

久慈高等学校3年の伊藤凱さんと野場健靖さんが、よむのす入館者40万人目となり、記念セレモニーが開催されました。伊藤さんは「1年生の時から三陸鉄道の待ち時間を使ってよむのすで勉強しています。景色を見ながら勉強できる窓際の席がお気に入りです」と語りました。

緊急時に備えて

卓球パレー久慈交流大会2022 10月9日



卓球パレーの活動を通じて防災の備えも学習



(一社)岩手県障がい者スポーツ協会が、市民体育館で、第4回あまちゃんカップを開催。8チームが参加し熱戦を繰り広げました。隣接するコーナーでは、防災に関する講習会が行われ、高齢者や障がい者を楽に移動できる車椅子なども紹介。防災意識も高まる会になりました。

百歳体操で元気で長生き!

地域でつくるみんなの元気大交流会 10月14日



講師がいいき百歳体操のポイントを解説

市民体育館で地域でつくるみんなの元気大交流会が開催され、275人が参加しました。いいき百歳体操の指導や講話などが行われ、参加した繁名トミサさんは「気分転換にもなり楽しかったです。今後も運動や百歳体操を続けていきます」とはつらつとした表情で語りました。

豊かな森を未来へつなぐ

第6回久慈地方森づくり大会 10月11日



みんなで協力して白樺を植樹

久慈地方森づくり大会が開催され、久喜小学校や来内小学校の全校生徒、管内林業関係者らがシラカバ100本を平庭高原に植樹しました。来内小5年の生徒会長上平千仁さんは「今日植えたシラカバが大きく育ち、海や森をきれいにしてほしい」と自然への思いを述べました。

津波てんでんこで命を守る運動

親子de防災ウォーク 9月19日



NTTビル屋上から町内を見晴らす

東広美町自主防災会が、避難訓練を兼ねた防災ウォークを実施し親子35人が参加しました。5.5kmを約90分かけ、緊急避難場所の下長内公民館、市総合運動公園、つつじヶ丘霊園を巡り、最後は垂直避難場所候補のNTTビルを会社の案内で内覧。避難ルートを共有しました。(大石)

秋空の下パークゴルフを満喫

小久慈パークゴルフを楽しむ会20周年記念大会 10月16日



お揃いの真っ赤なジャンパーを着てスタート

結成20周年を迎えた小久慈パークゴルフを楽しむ会が、大野パークゴルフ場で記念大会を開催。会員以外の愛好者も募り54人が参加しました。入ったあとガッツポーズやそこで止まれと大きな声を出しながら笑顔で交流を深め、和気あいあいとゲームを楽しみました。(大久保)

かぼちゃ祭り

夏井未来づくり広場ついでグループ一日市場&第23回大かぼちゃまつり 10月16日



こっけいな口上と振り付けで舞う、大声しゃくし舞いに大喝采!

夏井町川代地区で一日市場と第23回大かぼちゃまつりが同時開催され、183人の来場者で賑わいました。78個の特大かぼちゃの展示や中学生による手づくり菓子の販売、餅まきなどのイベントも大盛況。当地区伝承の大声しゃくし舞いも披露され、笑顔で交流を深めました。(梅沢)

てつだい隊出動!

はあと舎ボランティア活動 8月22日～10月14日



日差しが強いなかでも手を抜かず真剣な表情で作業

地域活動支援センターはあと舎が、ボランティアで巽山公園の展望デッキを塗装しました。日頃から作品作りに挑戦しているメンバーで、天候を確認しながらやり掛けやペンキ塗りを実施。生まれ変わったデッキから久慈の街並みを見てもらいたいと、丁寧に作業しました。



小渡 正利
リポーター



大石 純夫
リポーター